

(別紙) 公開ヒアリング

○B 者

プレゼンテーション (20分) 内容省略

質疑応答 (20分)

質疑	応答
<p>大村市の市庁舎らしいと考える1番のポイントはどういうところか。</p>	<p>大村は、大村藩の歴史が500年ぐらいあり、更に、その前の大村1000年の歴史があることから、その歴史や今までの大村の財産とどう向き合っていくかというのが、新庁舎での取り組み方と考えている。</p> <p>市民が、庁舎に親しみを持って来る。あるいは、庁舎に来たついでに買い物やホールに行くなど新しい生活をするキッカケになるような庁舎というのが、新しい大村らしさを見出せるのではないかと考えている。形や素材とかではなくて、組み立て方に大村らしさを盛り込んでいきたいと考えている。</p>
<p>市役所機能と市民広場との関連、意味、必要性等を説明してほしい。</p>	<p>市民広場は、駐車場も含めると大きな空間となっていることから、国道に向かって開かれた表情をつくる意味で玄関ホールは、三層の吹き抜けにしている。4階からは、議会の傍聴以外に一般市民が来ることはあまりないと考えられるので、一般市民が来庁される辺りで吹き抜けを止めている。</p> <p>そして、外部と内部の空間がガラスや壁で仕切られるのではなく、それぞれが相互に作用しながら、庁舎機能に繋がっていく中間領域的な考え方としている。</p> <p>市民広場との境については、広場側と庁舎側の双方から使えるような機能として、売店、食堂、情報発信コーナーを設置し、休日も開放して利用できるよう考えている。</p> <p>これにより、国道から駐車場、市民広場、庁舎という一連の空間の流れが作り出され、来庁者にとって非常に有効ではないかと考えている。</p>
<p>駐車場からの来庁者のアプローチにおける暑さ対策と、用水プロムナードの位置付け等について説明してほしい。</p>	<p>駐車場の暑さ対策としては、駐車マスの緑化ブロックを提案している。これは芝生と緑化ブロックとを組み合わせたもので、全面アスファルトの駐車場に比べると、表面温度が全体的に下がる。</p> <p>それから、駐車マスの後方に歩行者用通路を取ってお</p>

質疑	応答
	<p>り、基本的に車道を歩いて庁舎へ行くのではなく、この両端から、並木道の木陰を歩いて庁舎にアプローチしてもらうことを考えている。</p>
<p>平面は中廊下タイプになっている。採光や通風換気はどう考えているのか。例えば、1、2階の待ち合いスペースは全て人工照明となるのか。</p>	<p>まず、1、2階の東側は、大きな開口部があるので、ある程度明るくて、光が入って来ると考えている。その奥の広いロビーについては、人工照明になっている。</p> <p>執務室は、両側からある程度自然採光が入るが、非常にコンパクトで有効率の高い計画にしているので、人工照明に頼らざるを得ない。</p> <p>それから、4階には、エコシャフト（吹き抜け）を設けており、この吹き抜けを通して、最上階の議場側も風が抜け、光が入ってくる。</p>
<p>ZEB Ready を使って、かなり消費エネルギーも減ってる案になっているが、実績や根拠を詳しく教えてほしい。</p>	<p>エネルギー消費について、ZEB Ready は、我々の事務所でもいくつか実現している。今取り組んでいるもので、5階建ての大きな平面空間をもつ建物でも、内部からの熱負荷の影響が意外と少ない。パソコンやLED照明にしても、非常に電力消費量が下がっているが、外部からの熱負荷が、以前に比べるとずいぶん高くなっていることから、床面積に対する外周面積、できるだけ外壁面積を抑え、建物の四方にテラスとかバルコニーを設置して、直接、日射が入らないようにすることが一番効果的と考えている。</p>
<p>CFT 造ということで、比較的先進的な構造形式という提案だが、従来の S 造、RC 造、SRC 造との比較検討はなされたか。また、CFT 造のメリット、デメリットを教えてほしい。</p>	<p>CFT は、鉄骨の柱の中にコンクリートが充填されることで、建物の堅さが増す。</p> <p>免震構造の場合、家具の転倒防止や、内部間仕切りの損傷軽減のために、変形を抑えるということが一番大切になる。それを実現するために、今回は工期の短縮も兼ねて、S 造を基本にし、さらに、建物全体を堅くするために CFT 造にする。</p> <p>また、大規模な柱になると、S 造では板厚が数センチとなるが、CFT 造ではコンクリートを充填して、複合的な効果を併せることで、板厚は数ミリと薄くなり、コストの縮減も図れる。</p> <p>デメリットとしては、コンクリートをしっかりと充填することが課題となる。</p>

質疑	応答
	<p>RC 造も検討したが、庁舎における大平面の執務空間や議場を確保するには、普通の RC だとスパンが難しい。また、プレキャストも検討したが、プレキャストはコストが高くなる。SRC も検討し、コスト合理性と工期、事業期間を加味し、CFT としている。</p>
<p>CFT は地元業者でも可能か。また、歩行振動は気にならないのか教えてほしい。</p>	<p>鉄骨は、一般的なS造と大きな変わりはないので、県内の鉄骨工場で十分製作は可能である。</p> <p>歩行については、鉄骨梁の高さをある程度とっており、経験的にも、歩行に伴う執務の不快さはないと考えているが、設計において、十分検証する。</p>
<p>耐用年数の目標としては60年を考えられているのか。</p>	<p>目標としては100年を考えている。CFT 造では十分可能だと考えている。</p>
<p>60年もたせるのと、100年もたせるのでは、例えば、コンクリートの品質を上げるなどの工夫が必要なのか。</p>	<p>コンクリートの強度と耐用年数は、関連があると言われており、コンクリートを使用する基礎梁等は、一般的に学校などで使用している強度よりも4割ぐらい強度を割り増して、耐久性100年を考えている。</p>

○D 者

プレゼンテーション（20分）内容省略

質疑応答（20分）

質疑	応答
<p>大村市の市庁舎らしいと考える1番のポイントはどういうところか。</p>	<p>一番大切に考えていることは、この計画地が官と民の施設を中心にあることである。他市ではあまりないようなまとまった場所であり、周辺施設とどのように結び付けていくかということが、この敷地の使い方のテーマだと捉えている。大村市は住みやすいまち、住みやすい市という目標を掲げており、多様な世代の方、観光客、ボートレースを楽しむ方など、いろんな人がここに集まって賑わうような、そういった場所を創ることが大切だと考えている。</p>
<p>グランドギャラリーを造ることによって、周辺の公共施設と連携をして、無駄のないコンパクトな設計ということだが、具体的に説明してほしい。</p>	<p>市民利用の施設として、会議室やギャラリーなどの多目的スペースを多く設けることで賑わいを出そうとする計画が一般的だが、今回、隣のシーハットおおむらには、会議室、ホール、体育館などがあるので、そこを利用することによって、今回の新庁舎に新たにそのような施設を設けることなく、グランドギャラリーの屋根で繋ぐことによって、一つの施設のように計画する。</p>
<p>緑化テラスや屋上緑化の植樹方法やメンテナンスをどのように考えているのか。 また、事例実績等があれば教えてください。</p>	<p>2階から上のテラスには、丘のような庁舎を実現するために、緑化しようと考えている。 防水等の技術的な面は当然配慮しなければならない。また、高木や風で倒れる樹木はなるべく避けることとし、人の目に触れない部分は植栽ではなく、経済的なメリハリを付けた植栽計画や、周辺植栽の調査により、よりよいものを造っていこうと思う。</p>
<p>1階と2階の間にエスカレーターを提案しているが、この稼働率はどうなのか。 また、日曜日、祝日等のカフェを使う時には動いているのか。 さらに、3階と4階はほぼ同じ平面だが、これを入れ替えることは可能か。</p>	<p>他市の庁舎では、2階に福祉系や高齢者を支援する課を配置した場合、エスカレーターの利用が多くなり、また、1階と2階の課のレイアウトは今後変わってくる可能性があるため、エスカレーター有きで考えている。なお、このエスカレーターを使うときのみ動くタイプにすることによって、電力の消費を抑える工夫もできる。必要かどうかは、基本設計の中で変わってくる内容だと考えている。 3階と4階に関しては、ほぼ同じような平面形状であ</p>

質疑	応答
	るので、入れ替えることは可能である。
<p>災害時を考慮し、市長室は4階に配置した方がいいという考えか。</p>	<p>昨今の事例では、なるべく下の階に配置するケースが多くなってきているが、一番下の階から2、3層までは、市民利用が多い部署が配置されるので、4階ぐらいが一番多い事例だと思う。今回は、窓口関連部署を下から配置した結果、一番低い4階に配置した。</p>
<p>大きな吹き抜けがあり、空調床吹き出しだが、温度の均整が冬場や夏場でも保てるという根拠や実績があれば教えてほしい。</p>	<p>一番大切なことは、断熱をキチンとして、暖房自体をあまりせず、気密性を保つことである。例えば、出入口から風が入って来ると、それが上の方に向かって吹くことになる。大村は南東からの風、冬には一部北西からの風が吹くと思うが、それを考慮して、空調諸室に直接風が当たらない配置にするとか、風除室の形状を工夫し、風が入らないようにした上で、床吹き出しにすれば、エネルギーの消費を抑えられて、快適性も確保できると判断する。なお、実績はない。</p>
<p>SRC 造ということで、比較的オーソドックスな構造形式を提案されていると思うが、RC とか、S 造とかの比較検討はされたか。</p> <p>SRC 造のメリットと、デメリットを把握されていれば教えてほしい。</p>	<p>昨今、鉄骨のボックス柱の入手がとても困難なので、ボックス柱を使わないということから SRC にしている。コストを比較しても、SRC の柱とボックス柱は変わらない。SRC にした場合は耐火被覆が不要なので、仕上げも含めて考えると、やや安くなると思う。基本設計では、構造形式を比較して、最適なものを選んでいきたい。</p>
<p>スケルトン躯体で耐用年数100年ということだが、100年にするために、構造体として何か工夫があるのか。</p>	<p>今回は SRC の柱にコンクリートを使うので、その部分のかぶりの厚さを適正に確保することで、100年の構造体の寿命を確保できると考えている。</p>
<p>スパンが長いので、歩行の時の振動は大丈夫か。</p>	<p>スパンが長い庁舎については実績があり、歩行の振動も特に問題ない。設計の時に振動性状を確認しながら進めていく。</p>
<p>市では競艇企業局や上下水道局は、新庁舎に集約しない形で進めているが、提案の中では、競艇企業局や上下水道局を含めた提案になっていた。そこ</p>	<p>今回この計画を立てるに当たっては、基本計画と既存庁舎の図面を参考にしながら、提案している。フロアの配置は、入る課の具体的な内容が分からなかったので、レイアウトできる範囲で行っている。これから要件を整理し、調整したい。</p>

質疑	応答
<p>は何か意味合いがあるのか。</p>	
<p>グランドガレリアとメインエントランスの車寄せ部分が、既存の第2別館と重なっている。基本計画では、既存施設の取り壊しは、新庁舎ができた後に引越し、その後に既存庁舎を解体するということが、そこが重なっているということについて、どのように考えているか。</p>	<p>将来を見据えた庁舎の使い方を提案したいという意図が前提にある。</p> <p>グランドガレリアは、新庁舎の完成後、全ての建物を取り壊した後に造るよう計画することは可能である。</p>
<p>中央の吹き抜け部分から採光を取り入れるという説明であったが、どのように採光を取るのか。</p>	<p>吹き抜け部分の屋根レベルは周囲の屋根より突出している。この突出部の側面やトップライトから採光を取り入れようと計画している。</p>
<p>太陽光発電が最上階にあるが、何キロワットぐらい設置できそうか。</p>	<p>今のところは30キロワットであるが、協議して決めたい。</p>
<p>花火の時のパースでは、テラスに一般の方が入っているようになっているが、セキュリティや情報管理はどのようにコントロールするのか考え方を教えてほしい。</p>	<p>全ての者が自由に入れるわけではない。2階のキッズテラスはイベントの際には、解放されてもいいと考えている。最上階のテラスは、議会フロアなので、傍聴ロビーから直接人の出入りができる。</p> <p>当然、安全面には配慮する必要があり、大村市を代表するようなイベントの際には、庁舎を活用できないかということで、提案をしている。</p>
<p>災害時のエネルギー自立性で、自立期間としては3日程度なのか。</p>	<p>フルロードと言っているが、100%必要なものに対して、72時間確保するというようにしている。</p>

○C 者

プレゼンテーション（20分）内容省略

質疑応答（20分）

質疑	応答
<p>大村市の市庁舎らしいと考える1番のポイントはどういうところか。</p>	<p>新庁舎をまちの側から見た時に、大屋根が普通の箱型の庁舎に比べて、明るく、市民をお迎えするような表情をつくっている。そして、全体の外装のデザインは、機能性をまず重視して、水平の窓にしていると同時に、長崎街道沿いにある白壁の城下町をイメージしている。</p> <p>コミュニティの丘と表現している部分では、市役所と市民の接点の部分にテラスを設置し、このテラスはキッズコーナーと連動している。今、大村市は子どもも含め人口が増えており、このテラスでは車のことを心配しないで遊んでいただけるので、市民、特に子どもを大事にするスタンスもここで示せると思う。</p> <p>また、会議室前のテラスも、市民に開かれており、この新しい市役所のスタンスやコンセプトがまち側から分かるような外観になっている。</p>
<p>大屋根は、南側、北側にどれくらいの張り出しを考えているのか。また、屋根の上に大屋根と、太陽光パネルを設置しているが、その関係性について説明してほしい。</p>	<p>大屋根は、まず駐車場の方に向かって20メートル張り出している。シーハットの二棟を繋ぐ屋根が大体30メートルぐらいの大屋根になっているので、それとラインが揃うように計画しており、この2つが連動するような位置関係になっている。</p> <p>南側、北側には、3メートルずつ張り出している。この屋根の印象を込めて、大村のフラッグシップ（大村の旗）と表現しているが、琴の海というきれいな海に浮かぶ白い船のような印象を与えるデザインにしている。太陽光パネルは、この大屋根の真ん中の部分に、膜屋根が張ってない部分があるので、その部分に太陽光パネルを置いている。</p>
<p>玄関ロビーのイメージ図と図面との関係が分からないので教えてほしい。</p>	<p>2階は、ピンク色が窓口系で、ブルー色が非窓口系である。窓口系のカウンターはずっと繋がっている。非窓口系のカウンターも繋がっている。イメージ図は、2Fの会議室の前辺りから見た図となっている。</p>
<p>キッズスペースやロビーのエントランスは、かなりフラッ</p>	<p>最終的な段階で、実際の空気の流れがどうなるかをシミュレーションしながら計画していく。基本的にはエン</p>

質疑	応答
トに、入りやすい感じにデザインされているが、子どもたちの出入りが多くなることにより、エコボイドがマイナスに効いたり、また、空気の移動が多くなるかを教えてください。	トランス部分とその前の防災広場とが一体になって、市民をいつもお迎えするウェルカムな感じを出したい。
4階に市長室と危機管理センターと議会関係があるが、災害時等の影響で長期的な停電などを考えると、危機管理センターは3階がいいと思うが、入替えは可能か。	プラン的には3階に降ろすことは可能である。防災センターに関しては、今までの経験で、1階などの下の方にあった方がいいという考え方や、上階に防災センターあった方がいいという考え方があり、自治体によって色々な考え方があることから、大村市の事情を勘案しながら、対応したい。
大屋根を除いてRC造で、比較的オーソドックスな構造と思うが、例えば、ほかにS造や、SRC造との比較検討をされて、この構造とされたのか。	新庁舎は、海に近い場所であることから、RC造で考えた。全体の工期計画や、コストを考えながら、PC化も取り入れてやっていきたい。現時点ではRC造が、経済的に一番いいと考えている。
RC造については、メリット、デメリットがあるかと思うが、デメリットを克服する点はどのように考えているか。	RC造は、型枠を使用するので、環境問題をよく言われることがある。PC造は、木材の型枠も使用しないで済むし、工期も早くなるというメリットがあるので、PCの部分を増やしたいと考えている。
構造形式はRC造だが、基礎免震にしても、コスト的には有利になるのか。	免震とした場合のコストを算出しても、今の高さであれば、免震装置は免震ゴムで対応でき、一つ一つがそれほど高くないことから、この柱の本数であれば、経済的である。
ライフサイクルコスト(LCC)の削減は25%削減ということだが、その根拠と実績について説明をしてほしい。	建物の運用によって、チューニングができる計画とすることで、削減できると考える。これについては、新しい長崎県庁舎でそのシステムが採用されており、チューニングで削減できたという実績がある。このシステムが有効に機能するのではないかと考える。
花広場や防災広場、バスロータリーを整備される所は、平面図で見ると、既存の第2別館と	大屋根を新庁舎の上で仮止めし、スライド式により施工するので別館も、最後まで使用できる。

質疑	応答
<p>重複している。基本計画等では、新庁舎を建てた後に、既存庁舎を取り壊し、解体となるが、どういう考えなのか。</p>	
<p>市民と一緒にワークショップをしながら設計をすることだが、十分対応できるのか。</p>	<p>ワークショップの開催時期や手法についての経験やノウハウがある。ワークショップは、大きなホールでやると、なかなか意見を言いにくかったりするので、体育館の真ん中にいろんな模型を置き、参加者と話しながらやっていると、すごく効率的に意見が集められ、有効であったと考えており、十分対応できる。</p>
<p>災害時の電源等の7日間の考え方について説明してほしい。</p>	<p>基本的には、燃料を備蓄するのは3日間と考えている。屋外にオイルタンクを設置し、周辺の燃料会社との提携により、燃料供給を随時行うという計画である。</p>
<p>大屋根のイメージはできるが、その具体的な機能は何なのか。例えば、雨をしのぎ、日光を遮断するということについて、20メートル程度の張り出しで、どれだけの効果、機能があるのか。</p>	<p>この屋根は80%熱反射をする白い膜を張っているので、イメージ的にはすごく明るくなる。熱線は反射するので、まず夏の暑さは防げる。横殴りの雨が降ると、雨で濡れるが、大抵の雨の場合は、雨宿りの空間を創ることができる。</p> <p>防災広場については、これまで他自治体から防災時、屋根が付いていることにより非常に大きな力を発揮するとの意見を踏まえ、屋根付きとしている。</p> <p>また、1階から4階までは非常に経済的に設計しているが、大屋根が建物のシンボリックなものとなり、建物がすごく柔らかく、市民に開かれたウェルカムな感じの印象を与えることができると考えている。</p>
<p>新庁舎を進めるに当たり、予算的な制約が出てくるが、コスト削減を検討する中で、面積を縮減していく以外に、何か奇策的な手法があれば、教えてほしい。</p>	<p>屋根の南側と北側の部分の面積が大きいので、この部分を削減すると、かなりコスト削減の効果があり、屋根部分はコストの調整手段に使える。</p> <p>内部に関しては、スパンも均等スパンであり、平面形も簡単なものであるから、十分経済的な計画になっている。外壁材も基本的には白い吹付であるが、光触媒が付いて汚れない吹付なので、合理的である。</p> <p>調整手段としては、屋根の部分と太陽光の部分と思っている。</p>

○A 者

プレゼンテーション（20分）内容省略

質疑応答（20分）

質疑	応答
<p>大村市の市庁舎らしいと考える1番のポイントはどういうところか。</p>	<p>大村市固有の姿をもつ庁舎によって、市民に親しまれ、長い間使われる社会的な持続性のある庁舎にしたいと考えている。また、大屋根ロビーの空間で表しているように、市民がふらりと立ち寄れるような開かれた場所をつくりたい。それから、最後に玖島城公園という、非常に緑豊かな場所に近いことから、緑の中にある公園庁舎というイメージの庁舎を造りたいと考えている。</p>
<p>市庁舎のシンボル性についてどう考えているのか。 また、提案のあった形の庁舎は、あまりないように感じるので、実例やこれに近いものがあれば教えてほしい。</p>	<p>大村市の特徴として、近年人口が増えていることから、新しい庁舎においては、市民が中心となる形態や市民を自由に迎え入れるような形態が作れないか考えた。この大屋根が、外観を形成し、市民が集まる形態を作り上げており、その部分が象徴性をもっている。さらに、雨よけとなる歩廊が駐車場に沿って、まちの方に向かって手を伸ばしたように表現しており、この招き入れる形自体が、開かれた庁舎としての象徴性を作り上げるのではないかと思っている。 この大村市にしかない建物ができないかという考えから、提案しているので、実例はない。</p>
<p>すだれルーバーの素材、形状、メンテナンスについて説明してほしい。</p>	<p>大村市は、日本の中でも比較的緯度の低い方であるから、日射角度も比較的高い。水平方向のルーバーが、特に南面で効果的になるのではないかと考えている。ルーバーについては、金属のアルミのパイプを考えており、非常に耐久性の高い塗装を施して、汚れが付きにくいものにしたいと考えている。新庁舎の建設地は、海に近く、塩害等の影響があるので、材料については、しっかり検討しながら決めていきたい。実際のルーバーの形状については、価格等を含めいろんな面から検討して決定したい。日よけの効果、通風の許容度、さらには音の発生などをしっかりと考えながら、詳細に詰めていきたい。 裾広がり形態については、大村市の気候風土をベースに考えており、低層部の1、2階に市民利用の多いスペースをまとめ、上階は執務空間の環境に合わせて一体</p>

質疑	応答
	<p>的に覆うという考えである。</p> <p>ルーバーのメンテナンスについては、各階にバルコニーを設け、そのバルコニーから、ルーバーに直接アクセスできるので、メンテナンスは可能である。このバルコニーは、執務スペースに対する日よけの効果もあるので、日よけのバルコニーや水平ルーバーの2つの対策によって日射を制御するという考えである。</p>
<p>パッシブな手法と、アクティブ手法の併用型で、一次エネルギーを50%ぐらい削減することだが、パッシブ空調の事例があれば教えてほしい。</p>	<p>以前設計した庁舎で、CASBEEのSランクを取得した事例がある。</p>
<p>地中熱利用による床輻射冷暖房の導入を検討することだが、LCC等を計算される際は考慮されているかどうかという点と、この床輻射を使うことにより、大屋根の空間の空調が上手く保たれるのか。</p>	<p>床輻射冷暖房をLCCの計算で考慮している。</p> <p>吹き抜け空間は、居住域空調で省エネできると考えている。</p>
<p>ハイブリットRC造ということで、先進的な構造形式と思うが、従来構造のS造や、SRC造との比較検討の上、選定されたのか。</p>	<p>ハイブリットRC造は特殊で、非常に斬新だと思われるが、柱と梁の主体フレームは、RC造のラーメン構造となっている。床を支える小梁、外周部や大屋根ロビーの屋根面に鉄骨を採用することとしているので、特殊、特異なことをしようとしているわけではない。</p> <p>この構造形式は、長いスパン構造と鉄骨小梁により、建物全体の荷重20%を低減し、杭や免震装置、柱自体の太さ、主体フレームの断面全てを低減でき、合理的な計画が可能である。</p> <p>これは、我々が以前設計した建物で使用したことがある。最近、RC構造が現場において手間やコストがかかるということから、鉄骨をいれた。鉄骨の単価も比較的安くなっており、RCの価格に近づいているので、組み合わせることによって、合理的な工事計画ができると考えている。</p>
<p>構造体の目標耐用年数は、何</p>	<p>構造体は、RCと同等の耐用年数を考えている。最近</p>

質疑	応答
<p>年を考えているのか。</p>	<p>100年建築ということも言われているので、できるだけ長期間使える構造を目指していきたい。</p>
<p>イニシャルコストとランニングコストとのバランスを考えて取り込まれるということだが、具体的な試算を教えてください。</p>	<p>試算まではしていない。例えば、アルミルーバーのコストはそれなりにかかる。それによって、外壁面をコンクリートに耐候性のあるシンプルな仕上げにすることによって、バランスがとれないかと考えている。このすだれルーバーを使うことによって、大幅に日射をカットして、エネルギーコスト50%削減を目指している。ライフサイクルコストという観点からかなり有効なのではないかと考えた。</p> <p>外部のルーバーは、照射熱を約80%削減できている。年間における冷房の省エネ効果としては、約15%から20%ぐらい削減できていると考えており、ライフサイクルのランニングコストを低減できている。</p>
<p>サクラ広場から屋根付き歩廊が市庁舎まで延びているが、この位置付けと、国道に面した場所に防災備蓄倉庫を設ける理由を教えてください。</p>	<p>建替計画により、新庁舎の位置が海側へと近づき、来庁者が多い時期にも対応できる駐車場を有しているため、その駐車場から雨や日射を避けながらアプローチできる屋根付きの歩廊を設けることで、市民も快適にアクセスできるのではないかと考えている。</p> <p>さらに、この歩廊を活用することで、隣接する大村公園やシーハットおおむらにも人が集まる場となると考えられる。日常から人が集まる場においては、災害時も人が集まる場となるので、防災備蓄庫を設けることにより、非常に有効に利用できるかと考えている。</p>
<p>議場は最上階にあり、フラットな床形式であるので、コンサートホールに使用するとすれば、何人ぐらい入りそうな規模なのか。</p>	<p>基本計画で、議場に関しては、多目的な利用に配慮した構造を検討する旨が示されているが、その形式自体はまだ固定というのではなく、柔軟に対応することを考えている。</p> <p>この議場をフラットで使用する場合は、傍聴席の部分を含め、約300㎡の床面積であるので、コンサートホール0.5㎡に1人であるので、ステージを例えば100㎡とすると、約400人は入れるのではないかとと思う。</p>